

公募型プロポーザル方式 対象案件に関する質問・回答

工事名	平成29年度 横川ダム地点発電所建設工事
掲示日	平成29年6月21日
回答者	長野県企業局 南信発電管理事務所

No.	質問	回答
1	配置予定技術者について 配置予定技術者は設計・施工それぞれに適任者を選定したため、設計期間と施工期間で、別々の技術者を考えております。(契約期間中での技術者変更予定) 工事の『主』となる期間は施工時と考え、参加要件資料【様式3号】の配置予定技術者の欄には契約時に技術者として記載する設計担当の技術者ではなく、施工期間を担当する技術者名を記入したいと思います。よろしいでしょうか？ (質問受付:平成29年6月12日)	「配置技術者に関する要件」を満たす、配置予定技術者について記入してください。 下記No.3の質問・回答を参照してください。
2	様式1号 公募資料の3(3)③同種または類似の工事の実績のア「公共機関等から発注された工事」の「等」には 100%出資子会社は含まれますでしょうか？ (質問受付:平成29年6月13日)	「公共機関等」とは、「CORINSへの登録等に関する規約」第3条で定義された機関を言います。規約をご確認ください。
3	様式3号 参加要件資料の4(1)「配置予定技術者の資格、経歴等の状況」について、欄を増やして2名記載してもよろしいでしょうか？ (質問受付:平成29年6月13日)	参加表明時点で有資格者であれば複数の技術者を記載することは可能です。なお、技術提案書に求める配置予定技術者の資格・経歴等に、複数名を記載することも可能ですが、技術提案書を特定する評価基準における技術者の評価は、高いほうの技術者の評価をもって技術提案書の評価といたします。
4	様式8号 技術資料の3「技術提案」について、欄を増やして記載、もしくは資料を添付しても良いでしょうか？ (質問受付:平成29年6月13日)	「技術提案」について、欄を増やしていただく若しくは資料を添付いただいても構いません。
5	技術提案書及び技術資料の様式には、工程表が含まれていませんが、仕様書2 水力発電所詳細設計(5)には、「技術提案に当たり、工程表を提出すること。」との記載があります。今回提出する技術提案書に工程表は必要でしょうか。また、その場合に契約日は概ねいつ頃でしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	技術提案時に工程表を提出してください。契約日を概ね8月末としてください。
6	技術提案書の評価基準に記載の技術提案内容以外の技術提案をした場合の扱いはどのようになるのでしょうか。(加点・評価しないなど) (質問受付:平成29年6月14日)	技術提案書の評価基準により総合的に評価します。なお、仕様書は受注者に要求する最低限度を定めたもので、最低限の要求に拘ることなく、設備の効率的な運転やメンテナンス性などを技術的に検討したうえで、提案してください。
7	資料-2発電所図面には、水圧管路と放水路の形状が違う組み合わせで4パターンほどの計画図が見られます。複数パターンの基本設計が参考として提示されている意味合いは、ルート見当も含めて提案を求めるとの解釈でよろしいでしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	ご質問のとおりです。「効率的な発電方式の選定に関する提案」として検討の上、提案してください。
8	技術提案を求める具体的内容-地域貢献-施工方法における課題に記載の、「夜間、特定期間等における施工時の...」に記述されている特定期間とは具体的にどのような期間のことでしょうか？ (質問受付:平成29年6月14日)	冬期積雪期、農繁期など地域の状況を検討の上、提案してください。

No.	質問	回答
9	想定されている高圧連携受電柱の位置はどこになりますか。 (質問受付:平成29年6月14日)	受電柱の位置は特定していません。 ただし、配電系統とは、「再生可能エネルギー発電設備からの電力供給契約要綱」(中部電力株式会社)の「Ⅲ接続契約に関する事項」中の「13当社による系統連系のための工事」に基づき連携を想定しています。
10	年間可能発電電力量の試算に使用する流況曲線データは、仕様書2Pにあるグラフの10年平均流況曲線データを使用したいと思います。このグラフのもとになっているデータの提示をお願いします。 (質問受付:平成29年6月14日)	長野県ホームページに掲載中の、「資料—3 発電に使用できる流量表(平成18年~27年)」をご確認ください。数値データでの提供を希望される方は、担当事務所に請求してください。
11	仕様書3P事業性評価結果の放水水位には、882.5mと記載がありますが、資料—2発電所図面の放水口に記載されている数値は、下流側への放水口が883.0m、上流側の放水口が883.5mと、複数の放水水位が記載されています。事業性評価時の放水水位はどの数値でしょうか。 (添付資料1(この「質問回答」には添付省略)) (質問受付:平成29年6月14日)	事業評価時の放水水位は、882.5mです。 放水水位882.5mは発電放流時の河川水位です。 資料—2発電所図面中の表記は放水地点の水路の水位で、河川水位と0.5mの水位差を見込んだ883.0mを記載しています。副堤上流側に放流する場合は、放流先の状況が異なりますので放水地点の水位で、883.5mと記載しています。
12	仕様書1(6)ダム利水放流機能に係わる管理要求に、既設ダム放流機能に影響しない運転操作...と記載があります。影響しない制御方法の検討にあたり、既設放流設備の操作方法や制御内容を提示ください。 (質問受付:平成29年6月14日)	既設放流設備の運用状況は次のとおりです。 ・常時放流用設備:農業用水量を満足するとともに、設備(バルブ)を損傷しない開度で放流する。ダム水位が常時満水位を下回ったことがないため、一定開度で放流している。 ・分水工:農業用水量を分水して、余水を河川へ放流する。
13	仕様書1(6)a発電設備運転時 農業用水取水を既設放流設備(常用放流管)から先取りし、と記載があります。この「先取りし、」の意味合いはどのようなことでしょうか。発電に用いる流量より優先するとの解釈でしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	ご質問のとおりです。
14	発電制御にダム水位を用いることを検討しています。既設ダムコン設備からダム水位を受け渡しすることは可能でしょうか?また、可能な場合のダムコンの改修等については発注時点では本工事は対象外と考えてよろしいでしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	信号の形式、受渡し方法等は確定していません。ダム諸量を受信することは可能です。ダム諸量を受信する為のダムコンの改修工事は本工事は対象外ですが、ダム諸量の利用などを「効率的な発電方式の選定に関する提案」として検討の上、提案してください。
15	仕様書では、売電開始日の想定が平成32年4月1日と、履行期限より後に設定されています。売電開始日を系統連系日と考えた場合に、調整試運転期間に発生する電力を系統で消費できない場合を考慮する必要があるでしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	機器調整及び無水、有水試験後、試運転期間を平成32年3月31日まで想定しています。FIT売電開始日が系統接続日ではなく、有水試験時には、系統に送電可能にすることを想定しています。
16	事業性評価調査の成果品等、閲覧可能な関係図書についての質問は可能でしょうか。 (質問受付:平成29年6月14日)	事業性評価調査業務の成果品は、技術提案内容を指定するものではありません。成果品に係る質問には回答できません。